

診療科目：血液

カテゴリー：選択科目

科目責任者：経田克則

一般目標：基本的な診察手技を身につけた上で、血液疾患の診察、検査、処置、治療法（抗腫瘍剤や、輸血、支持療法、免疫抑制療法、抗生剤、G-CSF）などの専門診療を経験する。

担当科：血液内科

期間：原則3ヵ月

A. 指導体制

1. スタッフ

役割	氏名	医師登録年月日
指導医氏名	経田 克則	1991.5.24

B. 指導原則 / 方法

1. 血液専門外来にて指導医とともに患者を診察する。
2. 入院患者の主治医となり、指導医とともに治療にあたる。
3. 骨髄穿刺、骨髄生検などの検査手技や骨髄像の読み方の指導をうける。
4. 血液カンファレンスおよび症例検討会に参加し、入院患者全般についての討論に参加する。

C. 週間スケジュール（表）

曜日 時間	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
月		点滴センター(化学療法)						病棟研修			*1				
火		病棟研修						*2 病棟研修							
水		外来研修						外来研修							
木		点滴センター(化学療法)						病棟研修							
金		病棟研修						外来研修			血液カンファレンス				

*1 内科症例検討会（17時30分～19時）

*2 病棟症例検討会（13時30分～14時）

D. 科目責任者からのメッセージ

血液疾患は重い病気が多いですが、血液学は最近めざましい進歩をとげており、今まで不治の病と考えられてきた病気も治すことができるようになってきました。しかしまだまだ死と向かい合うことが多く、緩和ケアに習熟する必要もあります。医学の進歩に遅れない様、常日頃研鑽を怠ることができない分野ですが、それだけに、大変やりがいもありますので、この研修期間に学んでください。